

3. 所長の授業に学ぶ

先よみ力
よいまね
きりかえスピード
あかるく
まちがいはない
ぜんぶ正かい
一人をつくらない



まずは「授業の中で大切にしていきたいこと、こうあってほしい姿・願い」を、ほめ言葉にのせてテンポよく価値づけていく。「よいまね」「切り替えスピード」など板書へ位置づける。

まっすぐ伸びた手のすばらしさを伝える。ほめられてさらに伸びる手。それに負けじと伸びる周りの子らの手。

あたたかい
空気作り

グループになる時に気をつけてほしいことをつぶやく。「このクラスはまさか一人ぼっちにさせるとかないよね。まさか、女の子ばかり男の子ばかりになるとかないよね・・・」子どもたちは今までどうだったかな、と自分を振り返る。



板書する子と1対1にならないように。目線はクラス全員へ。

道すじをつけた後は

子どもを信じてまかせる

プリントの受け取り方。渡し方。子どもたちがとった行動からよかった姿を具体的に言葉にする。「両手で受け取ったね。おじぎをしたね。お礼を言ったね。」後ろに並ぶ子は自分はどう受け取ろう、と頭を働かせる。

